



「苦しさは気にならない、楽しいからこそ夢中になれる」 ～ ノーベル化学賞・碓合憲三先生の熱量に学ぶ ～

先日、東京理科大学名誉教授の碓合 憲三（そあい けんそう）先生が、ノーベル化学賞を受賞されました。

碓合先生の研究（碓合反応）は、「地球上の生き物の体が、なぜ“片方の形”の分子ばかりでできているのか？」という、生命誕生に関する100年以上の大謎を解き明かす画期的な発見です。最初は「ほんのわずかな偏り」しかなかった分子が、自分と同じ形の仲間をどんどん増やし、最終的にほぼ100%片方だけになっていく――。この「魔法のような仕組み」を世界で初めて実験で証明されました。



この素晴らしい偉業はもちろんですが、私がそれ以上に心を揺さぶられたのは、新聞記者からの「研究で苦しかったことは？」という問いに対する碓合先生の言葉でした。

「苦しかったことは全然覚えていない。新しい実験事実をどんどん見つけるので、楽しいというか、感動したことはある。」

きっと、粘り強く一歩ずつ解決策を探す研究生活の中でも、先生にとっては「苦労」ではなく「知る楽しさと感動」で胸がいっぱいだったのでしょう。まさに圧倒的な「熱量」です。

AIの時代だからこそ、「夢中になる力」を

今、私たちの身の回りにはAI（人工知能）が急速に普及しています。学習でも生活でも、検索すれば苦労することなく一瞬で「答えらしきもの」が手に入る便利な時代になりました。

しかし、本当にそれだけでよいのでしょうか？

「知りたい!」「やってみたい!」という自分の強い思い（熱量）を持ち、苦労したり失敗を重ねたりしながら答えを探すプロセスの中にこそ、本当の「楽しさ」や「達成感」があります。そしてその経験こそが、世の中の“正解のない問い”に立ち向かうための「思考力」と「判断力」、そして解決に向けて「粘り強く取り組む力」を育ててくれます。

学校での日々の勉強や、行事、部活動のなかでも、生徒たちにはぜひ「自分で考え、自分で行動し、失敗しても目標に向かって粘り強く挑む姿」を大切にしてほしいと思っています。

碓合先生が見せてくださった熱量を胸に、本校でも子どもたちが自分の「やりたいこと」を見つけ、夢中になって挑戦できる環境をしっかりと支えていきたいと考えております。ご家庭でも、子どもたちの「なぜ?」「やってみたい!」という小さな熱量の芽を、ぜひ一緒に温かく応援していただければ幸いです。

文化祭で掴む、未来へのステップアップ！ ～自律と共生への挑戦～



文化祭は単なる「楽しい学校イベント」ではありません。

実は、みなさんが目指している「将来の夢・進路の実現」や「部活動での目標」にグッと近づくための、絶好のステップアップの場（実践の機会）です。私は、「ただ練習をこなすだけではもったいない！」と思っています。

そこで、この文化祭を通じて、自分がどう成長したいのか、ブロックやクラスの仲間、見に来てくれた方のために何ができるか、一人一人が目標を持って取り組んでほしいと思っています。

今回、全校生徒に「文化祭事前アンケート」を実施しました。まだ回答していない生徒もいますが、10月7日（水）の時点でまとめた、生徒達の熱い想いと決意をご紹介します。

1. 【個人の目標】今、最も大切にしたいこと。「一番大切にしている自分の目標」を尋ねました。

- ① 希望進路・志望校の合格（64名）：3年生を中心とした強い決意。
- ② 部活動での目標達成（32名）：「県大会出場」「優勝したい」といった熱い想い。
- ③ コミュニケーション力の向上（23名）：人間関係や表現力の成長を目指す姿。

2. 【自律と共生】文化祭で目指す「行動の挑戦」

■ 「自律（自ら考え行動する）」観点から、具体的にどのような挑戦や手伝いをするか

- ① 「先生や先輩の指示を待つのではなく、全体の進行状況を見て自分から動く」
- ② 「文化祭の練習も勉強も手を抜かず、メリハリをつけて全力でやり遂げる」
- ③ 「3年生としてお手本となり、1・2年生を引っ張ったり裏から支えたりする」

■ 「共生（他者へ貢献する）」の観点から、文化祭で具体的にどのような挑戦や手伝いをするか

- ① 「作業が遅れている友達に声をかけて手伝う」「失敗した人を責めずに励まし合う」
- ② 「ブロック長やパートリーダーに負担がかかりすぎないように、進んで声を出し協力する」
- ③ 「見に来てくれた保護者や地域の方が笑顔で帰れるように配慮する」「迷っている1年生に優しく教える」

3. 生徒たちの「成長宣言」ピックアップ

- ・「私は文化祭を通して、周囲の意見をしっかりと聴いて協力できるようになり、自分の目標である希望進路の実現のための勉強や校内活動への自発的な参加に一步近づきます！」
- ・「私は文化祭を通して、ステージ上で緊張せずに話せるようになり、第一希望の学校の面接試験突破に一步近づきます！」
- ・「私は文化祭を通し、周りを見て行動することや仲間と協力して物事を進めることができるようになり、目標である『皆が楽しみながら音楽ができる演奏』に一步近づきます！」
- ・「僕は文化祭を通して、困っている人に積極的に話しかけられるようになり、自分の目標であるコミュニケーションの克服に一步近づきます！」

結びに：一回り大きく成長した自分へ

仲間と協力し、自ら考えて行動したプロセスこそが、面接や入試、これからの部活動、そして社会に出たときに自分を支える大きな強みになります。

庄内中学校の生徒の皆さん。自分の決めた宣言を胸に、今回の文化祭を通してまた一回り大きく成長しましょう！